

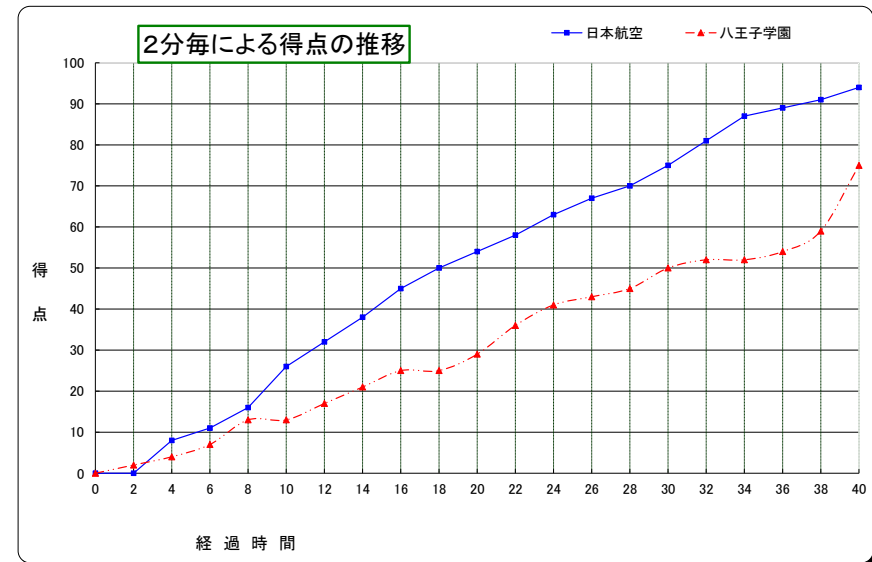
# 令和5年度 第34回関東高等学校 バスケットボール新人大会

令和6年2月4日(日)  
深谷ビッグタートル  
準決勝

チームA <b>日本航空 (山梨)</b>	<b>94</b>	<div style="font-size: 3em;">{</div> <table style="margin: 0 auto;"> <tr><td style="padding: 0 5px;">26</td><td style="padding: 0 5px;">1st</td><td style="padding: 0 5px;">13</td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">28</td><td style="padding: 0 5px;">2nd</td><td style="padding: 0 5px;">16</td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">21</td><td style="padding: 0 5px;">3rd</td><td style="padding: 0 5px;">21</td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">19</td><td style="padding: 0 5px;">4th</td><td style="padding: 0 5px;">25</td></tr> </table> <div style="font-size: 3em;">}</div>	26	1st	13	28	2nd	16	21	3rd	21	19	4th	25	<b>75</b>	チームB <b>八王子学園 八王子 (東京)</b>
26	1st	13														
28	2nd	16														
21	3rd	21														
19	4th	25														

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スティール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
0	西田 壮良	0													1
8	菅野 幸世	0								1					
11	宮野 大知	0													1
12	萩原 迅	3	1	1											1
21	平林 凌大	0							1						1
22	望月 陽生	0	0	1											
23	オルワベルミ ジェラマイア	19	0	4	9	16	1	2	1	1	14	4	3	1	1
25	鈴木 漣	0													1
30	大道 一步	25	2	3	8	14	3	5	2	2	5	5	10		5
31	本郷 匠ノ奏	0			0	1									
34	久保田 楓羽	2	0	1	1	1			2						
58	中西 哲太	9	3	9					2	1	2				1
77	高橋 蓮夢	18	3	9	4	5	1	2		2	2	3	2		2
78	齊藤 翔大	0											1		
99	三村 デール アンソニー	18			9	13	0	2	3	7	2		4		1
コーチ	山 本 裕														
		94	9	28	31	50	5	11	11	12	25	14	20	1	15
		確率		32.1%		62.0%		45.5%		計	37				

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スティール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
2	岡 祐心	0													
3	齋藤 志音	0													
4	平井 陽	0													
5	佐藤 大愛	0													
6	照井 昇太郎	3	1	4							1				
7	平原 侑真	11	1	2	4	13			5	2	2		2		2
8	シジャイ バブンデリ セク	16			8	21	0	1	2	9	6	1		1	5
11	花島 大良	4			2	4			1	2	2	1			1
12	十返 翔里	37	2	7	11	26	9	10	1	3	2	2	1		4
13	畠山 颯大	4			2	5			2	1	6	3	1		6
14	堀澤 希望	0			0	1			1	2	5	1	1		
16	小清水 寛太	0													
17	内田 龍志	0													
18	宮川 新	0													
19	新道 洵雅	0													
コーチ	伊 東 純 希														
		75	4	13	27	70	9	11	12	19	24	9	5	1	18
		確率		30.8%		38.6%		81.8%		計	43				



**戦評**

第1Q、両チームハーフコートマンツーマンディフェンスでのスタート。お互いのディフェンスが機能し、開始2分ノーゴールが続く。均衡を破ったのは八王子#12のファーストブレイクからのカットイン。航空も#77#58の3Pが決まりゲームが動き始める。航空は#99のリバウンドから#23#30のカットインなどで流れを掴もうとするが、八王子も#12の1:1やブレイクなどで譲らない。航空タイムアウトの後さらにディフェンスの強度を上げ、八王子に向きかけた流れを取り戻す。#30のスティールから#77#58の3Pが決まり再びリードを奪い13点航空リードでこのクォーターを終える。

第2Q、航空#30#77の機動力も機能し始め、そこに#99のリバウンドと、開始3分で航空が19点差とリードを奪う。八王子もディフェンスリバウンドから速い展開に持ち込もうとするが航空のディフェンスの前にタイミングの良いシュートを打たせて貰えない。航空が25点のリードで前半を折り返す。

第3Q、八王子は#8のポストブレイ、#7の3Pで追い上げ開始。しかし航空も要所で#30#77のスティールからのブレイクなどで八王子の追従を許さない。八王子は#6の3P#7のカットインなどの反撃に対し航空も#77#30が3Pを沈め点差は縮まらず25点差のまま最終クォーターを迎える。

第4Q、航空は#30のカットイン、スティールから#23のダンクシュートと一気に突き放しにかかる。開始5分で#30のディフェンスのタイミングをずらした技ありシュートや#99のゴール下シュート、ディフェンスにおいても#77の体を張ったプレーなどで点差は33点と広がる。残り2分メンバーの代わった航空に対し八王子も最後の意地を見せるが及ばず19点差で日本航空が決勝へと駒を進めた。このゲームで37得点を叩き出した八王子#12のプレイには目を見張るものがあった。

文責 佐野 正

Ref	北島 寛臣	1st U	一色 渉	2nd U	山岸 大輔
-----	-------	-------	------	-------	-------